



「長寿会で読み聞かせ！」



生涯学習課主催の各集落での長寿会（平成25年11月8日（上嘉鉄集落）11月13日（阿伝集落））に図書館から「言葉あそび」と「昔ばなしの読み聞かせ」で参加させていただきました。

図書館では、読書推進活動の一環として“7ヶ月児（ブックスタート）から100歳まで”図書館に親しんでもらいたいと願い活動しています。人生の大先輩を前に「喜界島昔ばなし」の読み聞かせや「言葉あそび」は大変緊張しましたが、とても嬉しい出逢いになったと思います。

次回もおじゃまさせてほしいと思います。（職）

「詩」 あいうえお あらい たけこ 作
 おなかに手をあて 「あいうえお」
 むねに手をあて 「あいうえお」
 ほほに手をあて 「あいうえお」
 みじかくきって 「あ い う え お」
 すこし のばして 「あーいーうーえーおー」では もういちど
 おなかに手をあて 「あいうえお」
 あいうえお は 母音といって日本のことばの 母さんです
 ※ 長寿会での言葉あそびです。皆さんと一緒に大きな声で朗読しました。



★阿伝集落長寿会 11/13(水)



★おはなし会 11/16(土)

「冬休み！ミニ図書館フェスタ'13」を開催します。

日時：平成25年12月21（土）場所：喜界町図書館
 古本市：一階フロア 午前10時～午後6時
 クリスマスお楽しみ会：二階読書室
 午後1時30分～午後4時30分

- ☆ ペープサート人形劇
- ☆ 楽器と遊ぼう…… おはなしの会ころころ
- ☆ ブラックシアター（星のクリスマス）おはなしの会ころころ
- ☆ 長編映画「あらしのよるに」スペシャル・エディション
 原作・脚本/きむらゆういち（シズ「あらしのよるに」講談社刊）
 監督/杉井ギザブロー
 （声） ガブ：中村獅童 メイ：成宮寛貴
- ☆ サンタ登場！（ささやかなプレゼントを準備しています。）

県立奄美図書館主催の『奄美群島日本復帰 60 周年記念復帰資料巡回展』(10月18日～10月27日まで)が喜界町図書館で、貴重な資料展示に小学生からかなり年配の方々まで 107名の関心がありました。

喜界町図書館にも 60 周年関連の資料がいくつかありますので紹介します。

- ・ 奄美の日本復帰運動史資料 吉田慶喜 編
- ・ 灯火たやさず 奄美群島祖国復帰 40 周年に 西シガ子 著
- ・ あの日あの時 実島隆三 著
- ・ 祝電・メッセージ/公報喜界に見る日本復帰関連記事 他多数

おはなし会

★土曜日 午後2:00～2:40頃

《12月のミニ映画》

- 7日 ゆきおんな
- 14日 クリスマスのおくいもの
- 21日 ♪あらしのよるに(長編映画)♪
- 28日 かさじょう

図書館カレンダー(12月)

※開館時間 10:00～18:00

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31	1/1	1/2	1/3	1/4

※ は、休館日です。

H25 年 10 月の貸第冊数 4,928 冊

H25 年度 貸出冊数累計 14,870 冊

H25 年 10 月の利用者数(来館者) 2,060 名

H25 年度 利用者累計 31,286 名

★ 12月29日～1月3日まで休館です。

《喜界島の歴史・伝承・伝説を探る》

喜界島の謎・幻の時代（古代より近世の世界） ～先月号より～

また、沖縄の久米島北西部の下地原鍾乳洞から1万5千～2万年前の化石人骨が発見され、宮古島の中南部上野村のピンザアプから2万5千年前後の化石人骨が発見されている。また、沖縄県島尻郡具志頭村（ぐしかみそん）港川から1万8千年前後の人骨「港川人」が発見されている。この港川人は、中国南部の柳江で発見された「柳江人」に類似しているといわれ、いまから7千年前、日本に定住していたアイヌに北方へ押し出されたオホーツク海土器時代の先住者といわれている「コロボックル」（アイヌ語。フキの葉の下に住む人の意。坪井正五郎は、日本列島先住民とみて、アイヌに追われたと主張した。《広辞苑より》）のような背丈の低い幻の人々であるといわれている。

更に、沖永良部島知名町の中甫洞穴から爪形紋土器と九州系の市来式土器がともなって出土したので、九学会がこの土器を調査したところ、北は長崎県の島原、屋久島の一湊貝塚、大島笠利の宇宿貝塚、徳之島の面縄貝塚、南は、沖縄の浦添貝塚まで及んでいるという。これらは、縄文時代の後期、3世紀に属するといわれている。遺跡や出土品について詳しく記すと、昭和30年の夏から九学会の考古学班が3年間にわたり、奄美や沖縄地方の発掘調査を行い大島北端の「あやまる岬」近くの笠利町万屋と赤木名の中程にある砂丘の宇宿貝塚を発掘したところ、この貝塚に住居跡とみられるもののほか、土器、石器、骨の角や牙などが出土している。

喜界島では、島の西方に位置し大島の笠利町宇宿と最短距離にある荒木の小学校付近の砂丘遺跡が宇宿上層期のものであるという。荒木遺跡からは、出土した人骨の腕に巻き貝を輪切りにした貝輪やウス玉類を副葬（生前の愛用品や埋埋葬用の特性品を埋葬）し、付近から槌石（物を打ち砕いた石）、沈線文（うすい線）を施した宇宿縄文土器片（下層式）のものが出土している。 文責（登山 典壽）（12月号に続く）

引用文献資料： 南島郷土誌 倭の古代からワチャシマ・ワンナムラまで 井上 忍 著

あたらしい本



▲こどもの本▼

- ☆ だましえだいく 青山 邦彦著 フレーベル館
- ☆ おばけのゆきだるま ジャック・デッケノワ 著
- ☆ ひいきにかんぱい！ 宮川 ひろ著 童心社
- ☆ はりねずみのルーチカ かの ゆうこ著
- ☆ クリスマスクッキングふしぎなクッキングガール
梨屋 アリエ著 講談社
- ☆ きょうりゅうもびょうきになる たかしよいち著



▲おとなの本▼

- ☆ まほろ駅前狂想曲 三浦 しをん著 新潮社
- ☆ 大江戸恐龍伝 第1・2巻 夢枕 獏書 小学館
- ☆ イン・ザ・ヘブン 新井 素子著 新潮社
- ☆ みがけば光る 石井桃子 著 河井出書房
- ☆ 村上海賊の娘 上・下巻 和田 竜著 新潮社
- ☆ 刑事コロンボ13の事件簿ウィリアム・リンク著
- ☆ いまこそ農業 最新版 イカロス出版



《よねちゃんのひとりごと》

昔、某国営放送で「大草原の小さな家」という海外ドラマが、放映されていた。開拓時代のアメリカのお話で、主人公ローラ一家の話だ。読みものとして、読むだけでなく、アメリカの歴史を楽しく学べる側面もある。

日本では、TV 放映化されて一層ブレイクしたが、早くから翻訳されており、親子3代にもわたり読み継がれるほどのロングセラーだ。先日は、翻訳家の谷口 由美子女史の講演を拝聴する機会にも恵まれた。当館には「小さな家シリーズ」以外にもローラの本が所蔵されている。近々、展示企画も考えている。さあ、本を読んで旅へ出かけよう！！